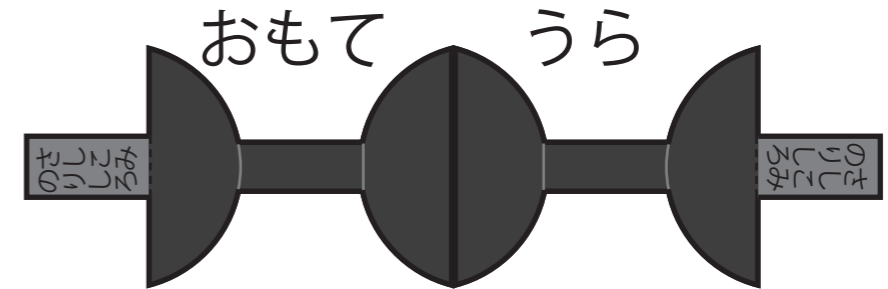


こし まき いた
腰巻板

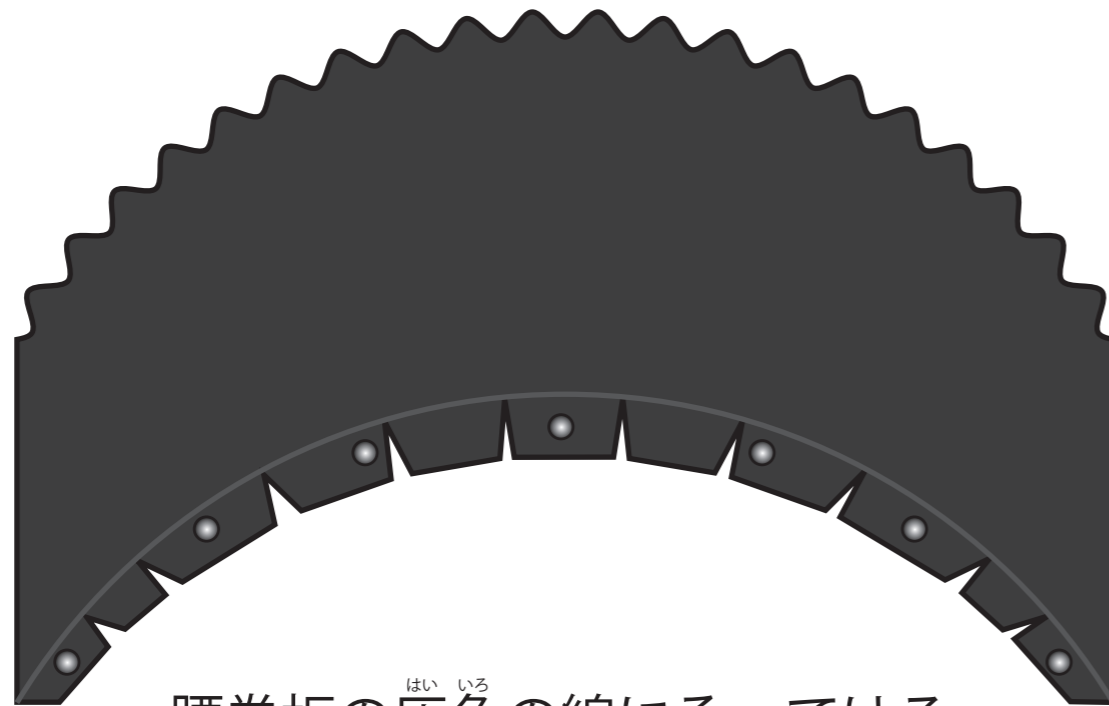
- 鉢の下の、のりしろにはる
- 鉢の板一枚につき、鉾がだいたい二個
りょうはし 両端にのるようにはりつける
- ▲のあたりが鉢6の中心ちゅうしんにくるようにはる

ふせ ばち かん 受け ばち
「伏鉢, 管, 受鉢」



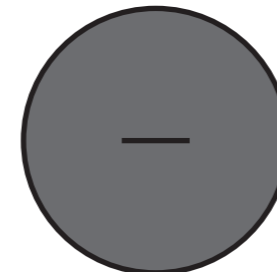
- 真まん中なかで二つにおりまげ、おもてとうらをはりあわせる
- 伏板のきりこみに、さしこみのりしろをさしこんで、はる

ま びさし
眉庇

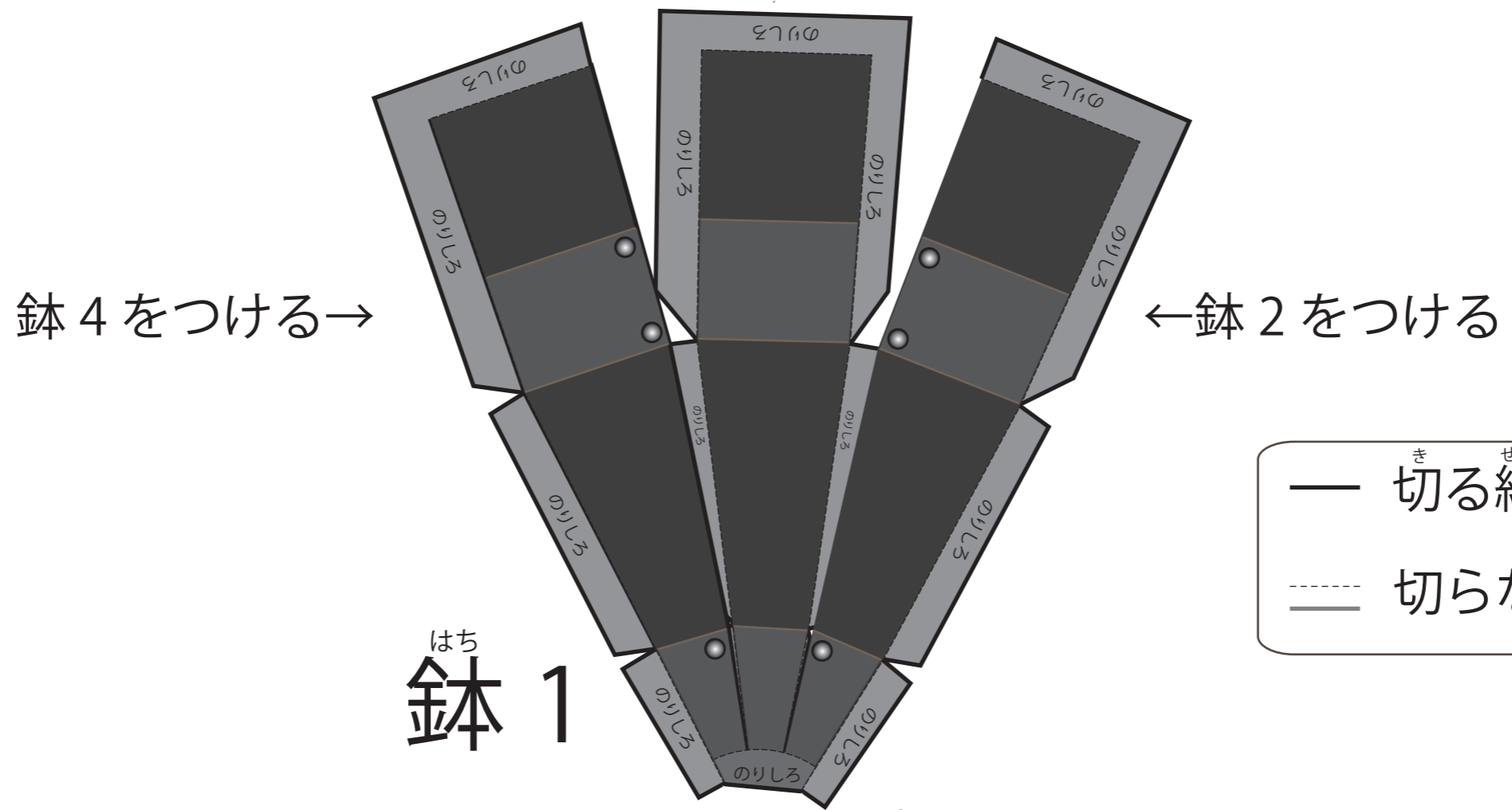
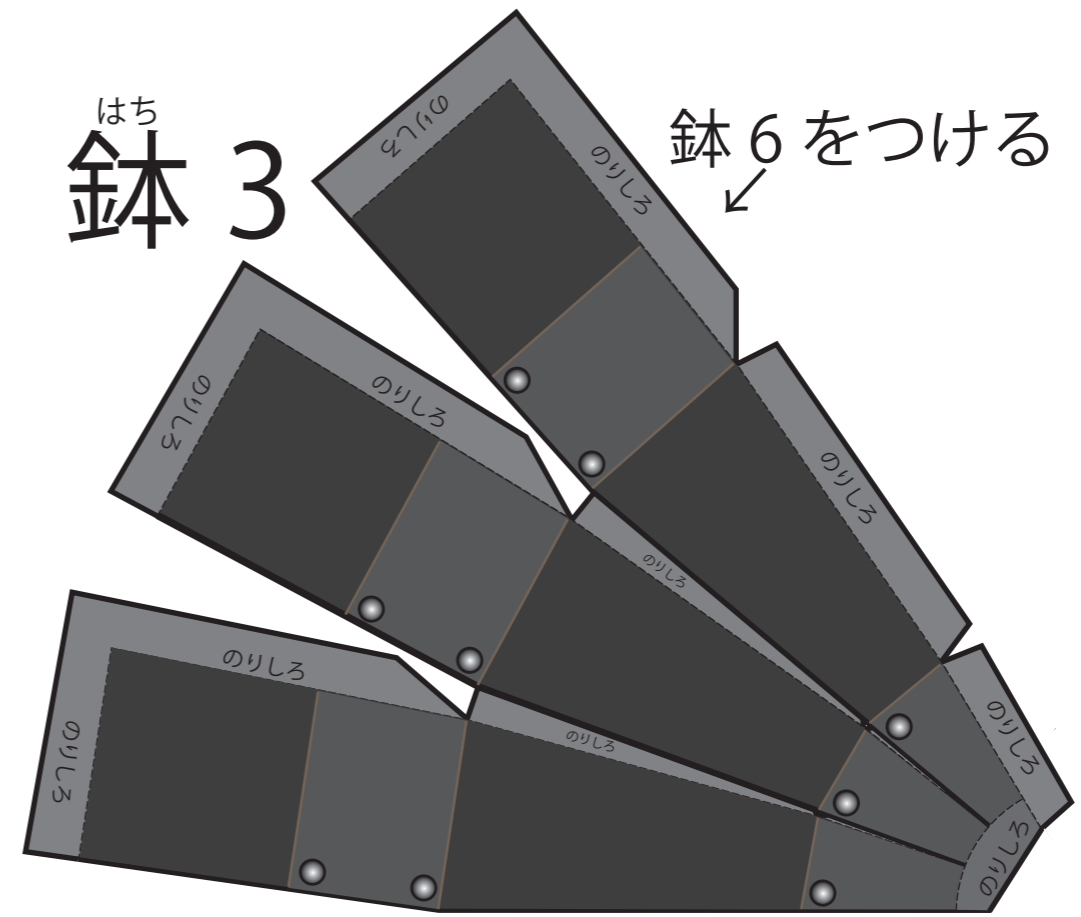
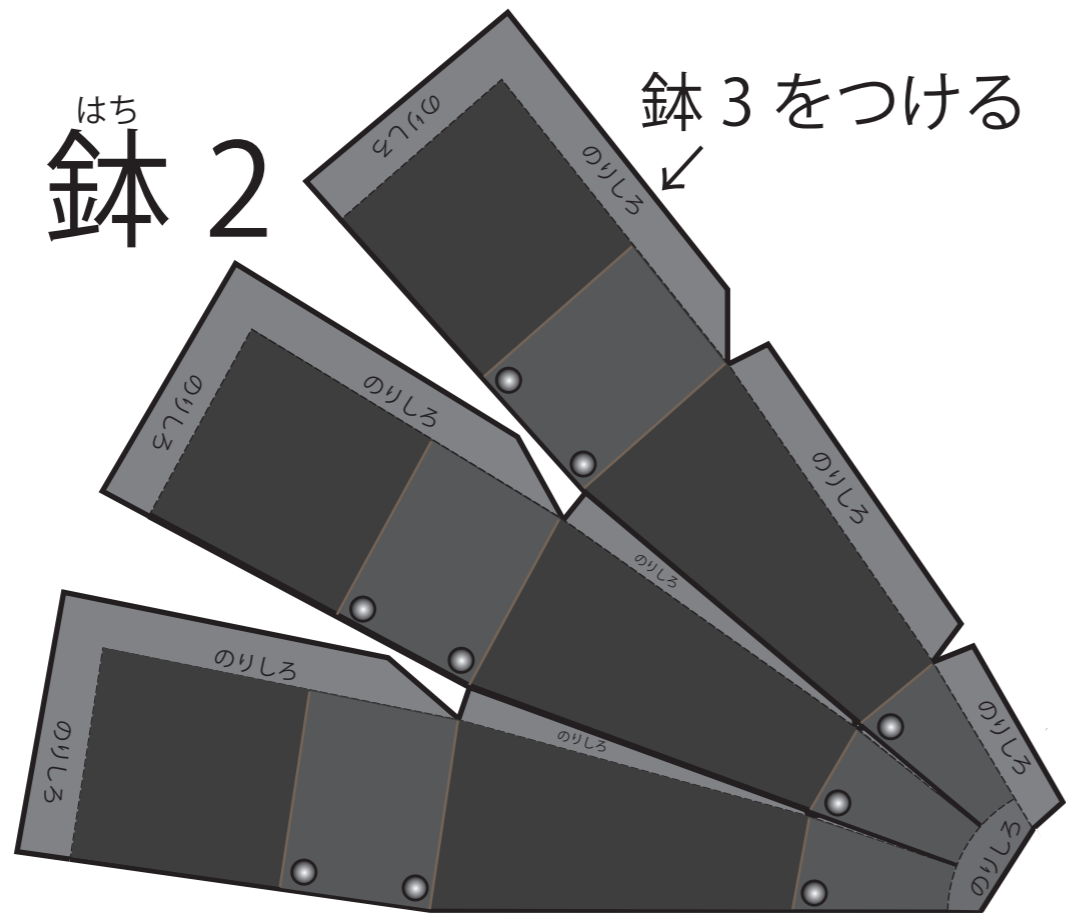


- 腰巻板の灰色はいいろの線にそってはる
- 真ん中の鉾が▲に重かさなるようにはる

ふせ いた
伏板

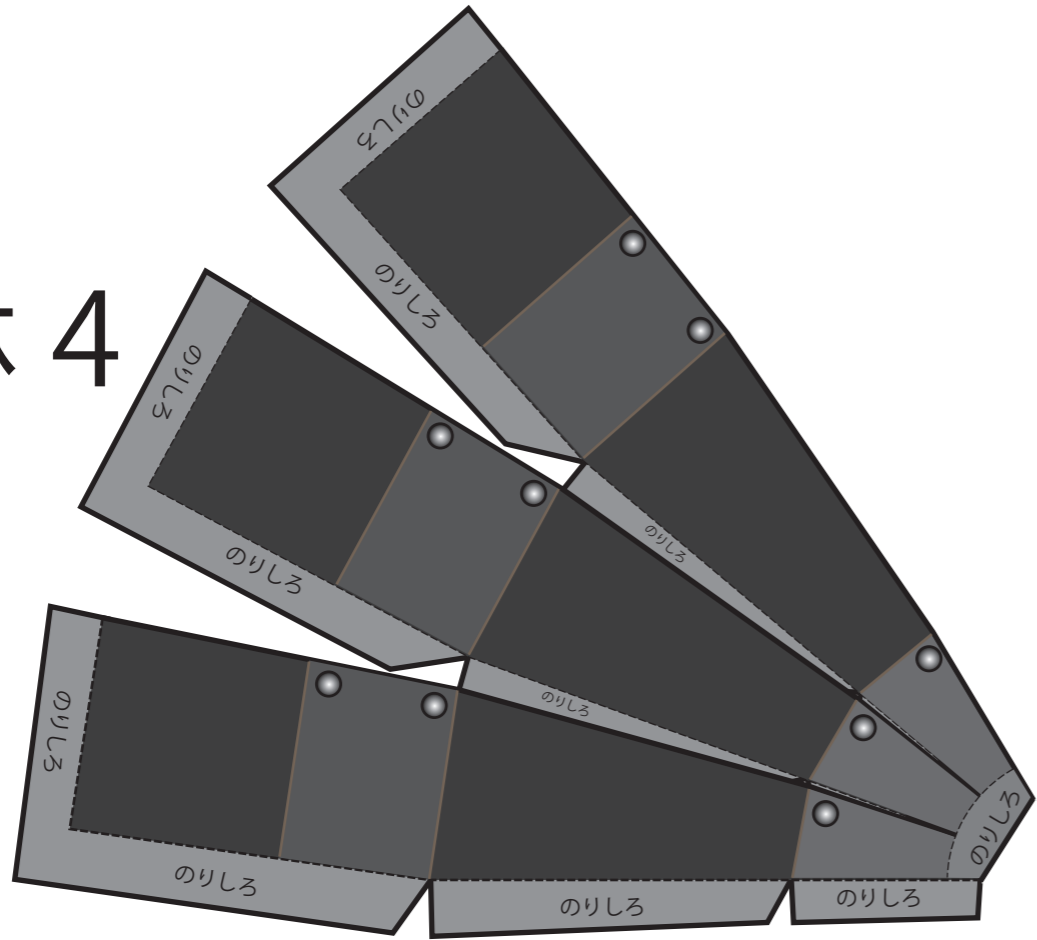


- 中央ちゅうおうの線に切りこみをいれる
- 鉢の穴をふさぐようにはる。



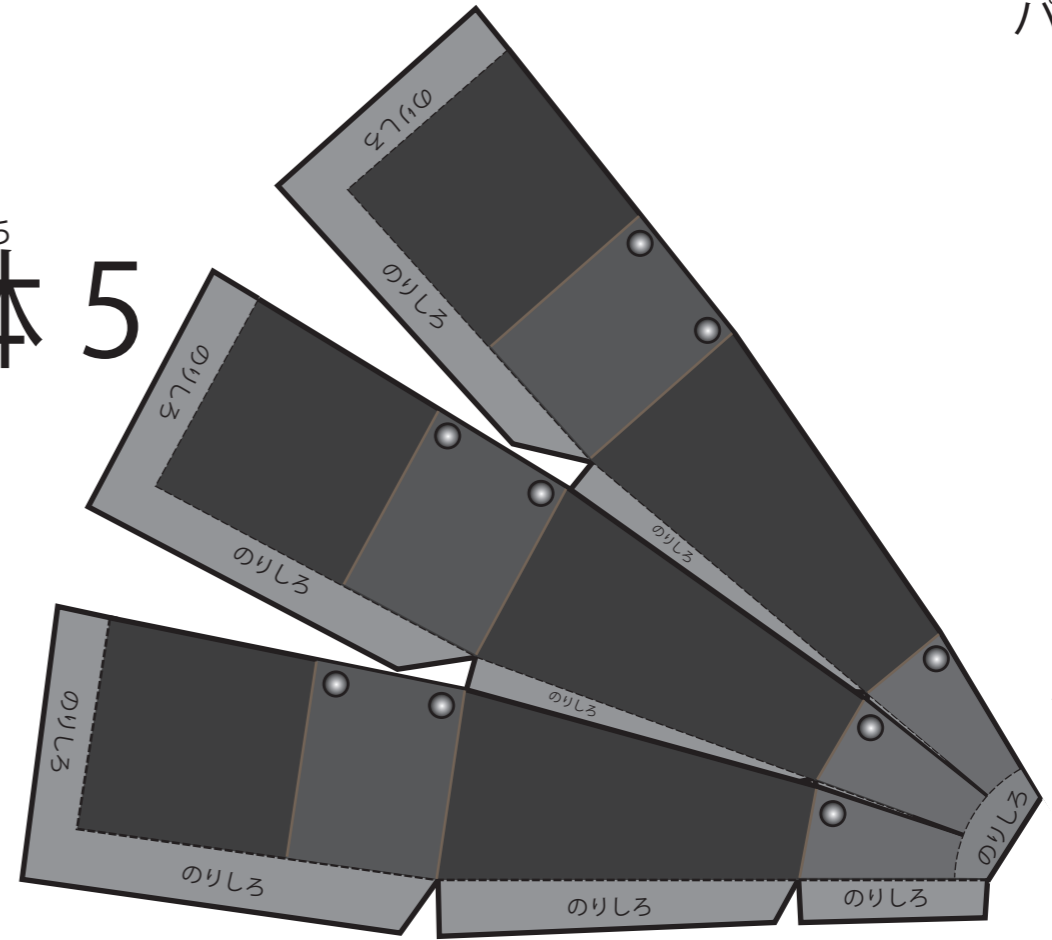
— 切る線
- - - 切らない線

はち
鉢 4



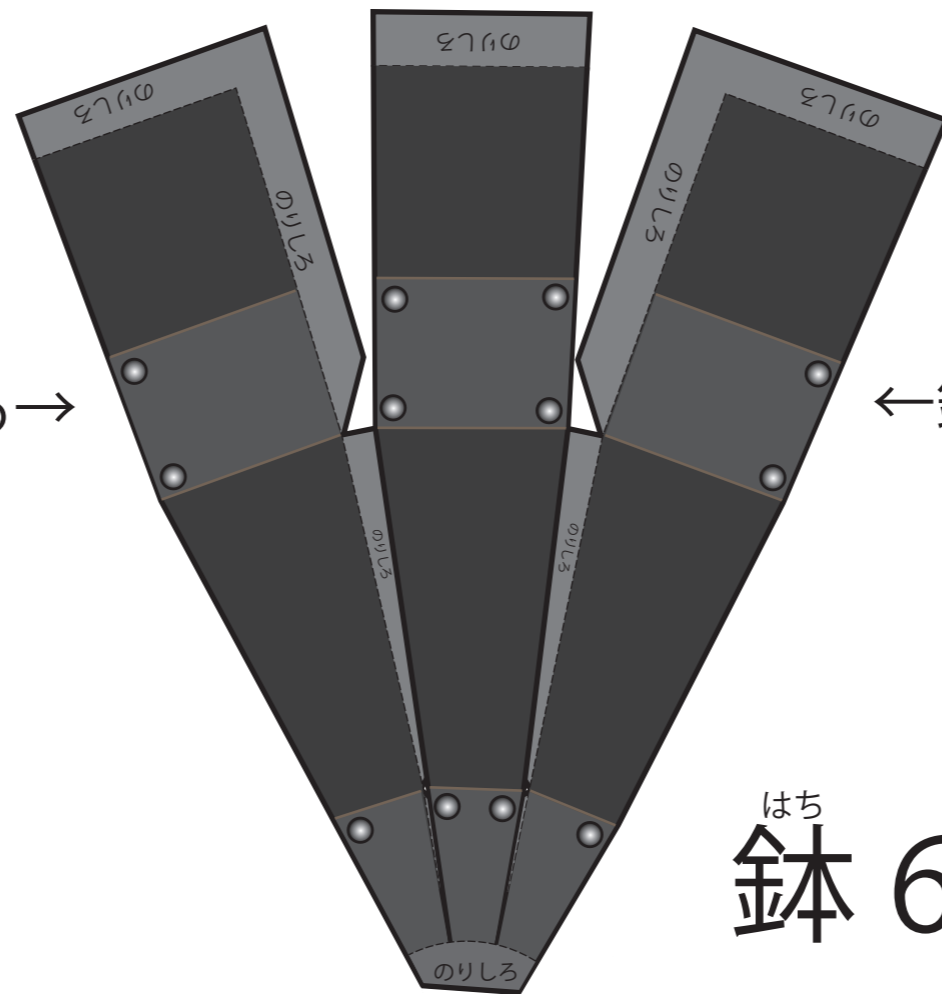
↑鉢 5 をつける

はち
鉢 5



↑鉢 6 をつける

鉢 3 につける →



← 鉢 5 につける

はち
鉢 6

しころ

腰巻板の●にしころの●を^{かさ}重ね、^{あな}穴をあけて^{かなぐ}金具でとめる

上

下

